

---

# 「美しい人の話」

蒼斐 堇

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

「美しい人の話」

### 【Nコード】

N1297U

### 【作者名】

蒼斐 董

### 【あらすじ】

シヨート・シヨート2作目。

とある国の皇女様と魔法使いのお話。

童話調ですが風刺を取り入れております。

さて、本当に綺麗なものは一体なんなのでしょうか？

ある国に、皇女様が住んでいました。

小さな国でしたので、贅沢な暮らしをする事はなかなかできませんでした。

飢饉も続いていたし、人の心も荒みきつていて、決して良い状態ではありませんでした。

また、それに釣り合うかのように、皇女様もあまり美しくありません。

美人ではないけれど、不細工ではない。並みの女性。

そんなおり、皇女様の前に魔法使いが現れました。

魔法使いは言いました。昔、貴方に助けてもらった小鳥です、と。

皇女は、気まぐれに巣から落ちた小鳥を助けた事があつたのです。

小鳥だった魔法使いは言いました。願いを3つだけ叶えてあげる。

皇女様は1つ目の願いに、国の人に沢山の食べ物をおあげくださいと頼みました。

すると、国中の畑はみるみるうちに豊かになって、多くの人たちがお腹をいっぱいにする事ができました。

2つ目の願いには、国の人々を喜ばせて欲しい頼みました。

こんどは、国の真ん中にある大きな木を見たことのない、木の実を実らせました。

それは、食べるととても、美味しく。これから作る酒は、素晴らしい味で、人々の心は豊かになっていきました。

最後の願いに、皇女様は鳥だった魔法使いの為に使うことにしました。

「この国で一番、美しい物を貴方にあげましょう」

魔法使いは、喜んでその願いを叶えました。

目の前の皇女様はみるみると鳥の姿に変わっていったのです。

鳥の姿になった皇女様に魔法使いは言いました。

「貴方の心は、小さな国でなによりも美しいですよ」

(後書き)

批判・酷評お待ちしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1297u/>

---

「美しい人の話」

2011年10月9日06時36分発行